

# 農業委員会だより



## 色とりどりに咲き誇るシンビジウム

外は一面雪景色の2月中旬、十文字町睦合地区では洋ランの一種であるシンビジウムの出荷に追われています。ハウス内には、赤、黄色、ピンク、白と色とりどりの花が咲き誇っていました。ハウス1棟で約800鉢を栽培しており、贈答シーズンを迎える11月中旬から3月いっぱいにかけて出荷は続きます。

シンビジウムは、鉢植え、切り花どちらも人気ですが、睦合地区では切り花を何種類かミックスし箱詰めして出荷しています。高価なイメージもある花ですが、花持ちが大変良く環境次第では2か月前後も花を楽しむことができます。

広報・食農推進委員 佐藤 真志子

## 目次

|                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| 農業委員会活動情報                         | 2~3 |
| 農業者年金・全国農業新聞                      | 3   |
| 農業委員会委員紹介                         | 4   |
| 横手市賃借料情報                          | 5   |
| 農地の取扱いの見直しについて                    | 5   |
| 農地移動の許可申請について                     | 5   |
| 第13回横手食育見聞録<br>作文・図画コンクール=最優秀賞作品= | 6   |
| 編集後記                              | 6   |

# 農業委員会活動情報

小学生が考える食と農業

## 横手食育見聞録

### 作文・図画コンクール



農業委員会では、小学生自らが食について考える習慣を身につけ、生涯を通じて健全な食生活を実現するため、広報・食農推進委員会を設置して、食農教育の推進に努めています。

13回目となった「食育見聞録作文・図画コンクール」には、市内の小学5年生の子どもたちが「農業」や「食」について感じていることや、農業体験を通じて感じたことを表現した作品453点(作文274点、図画179点)の応募がありました。

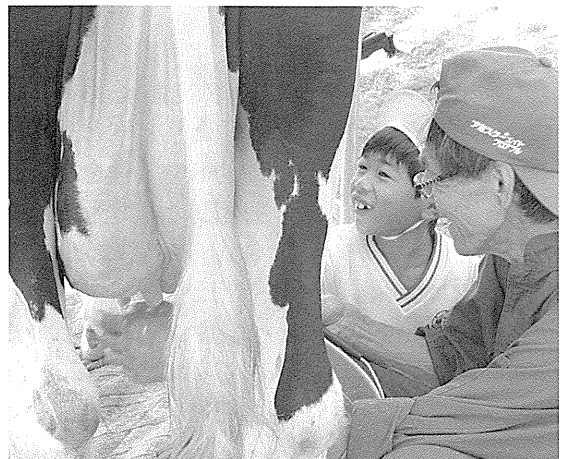
農業委員会が行っている、地域の農政を推進するための取り組みをお知らせします。

牛の温かさに触れる

## 小学生が搾乳を体験

9月13日、浅舞小学校の2年生40人が「わくわくモーモースクール」で搾乳を体験し、酪農の仕事への理解を深めました。

当日は、農業委員で酪農家の千葉肇さんが飼育する乳牛ラスティと



## 作文の部

### 最優秀賞

醍醐小学校 5年 佐藤 夕七さん

### 優秀賞

- 横手南小学校 5年 渡辺 央珠さん
- 横手南小学校 5年 阿部 月咲さん
- 横手南小学校 5年 佐藤 康由さん
- 雄物川小学校 5年 梅井 音花さん
- 雄物川小学校 5年 黒澤 壮さん

## 図画の部

### 最優秀賞

雄物川小学校 5年 黒澤 壮さん

### 優秀賞

- 醍醐小学校 5年 泉 希樹さん
- 醍醐小学校 5年 高橋 成さん
- 醍醐小学校 5年 高橋 奈央さん
- 十文字第一小学校 5年 渡邊 大樹さん
- 十文字第一小学校 5年 高橋 麗咲さん

生まれたばかりの子牛が小学校に運ばれ、子どもたちは「可愛い」「大きい」と歓声をあげていました。はじめにクイズ形式で牛のことを学んだ後、一人ずつ丁寧に搾乳の仕方を教えてもらって挑戦しました。少し怖がりながらも、積極的にチャレンジした子どもたちは牛の温かさや愛らしさに触れ、「酪農家になりたい!」「牛を飼ってみたい。」と、いきいきとした表情を見せてくれました。

また、生クリームを使ったバター作り体験では、歌に合わせてリズムよく容器を振って楽しそうにバターを作っていました。普段とはひと味違うフレッシュなバターの味に、たくさんの笑顔があふれていました。

### 農地利用最適化推進連携会議

改正農業委員会法の施行に伴い、当委員会では平成30年4月から農業委員と農地利用最適化推進委員による新体制となりました。委員は「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」を策定し一年間を通して研修会を重ねながら、最適化推進活動実施のための知識向上に努めました。

12月20日には、農地利用最適化推進連携会議を開催しました。農業委員は担当地域の限定はされていませんが、推進委員と密接に連携し、これまで同様現場活動をしていくことが重要であるとの認識から地域ごとに現状の課題や今後の対応について話し合いを行い、現場活動における取り組み課題の確認を行いました。



### 農業委員会委員研修会

#### 未来を拓き、地域を担う

#### 「食」と「農業」

2月1日、農業委員会委員研修会を開催しました。

第一部は、講師に群馬県立女子大



学文学部教授の佐々木尚毅氏をお招きして講演会を行いました。講演では、人口減少や高齢化が、農業にどのような影響を及ぼすか、それに備え、未来を切り拓くためにはどうしたら良いかを、様々な切り口からお話いただきました。参加した多くの委員から「また講演を聞きたい」との感想が多く、有意義な時間となりました。

第二部の市長との意見交換会では、初めに市長より、現在旧大雄中跡地に建設中の「園芸振興拠点センター」を活用した更なる複合産地化の推進など農業施策について説明がありました。

委員からも、多くの意見が出され活発な意見交換が行われました。農業委員会は今後も、地域の農業者の代表として、市をはじめとする関係機関へ、施策提案等を行ってまいります。

毎日だと大変...そんなあなたに  
まとめて読める週刊誌!

# 全国農業新聞

週刊 月4回 金曜日発行  
月700円、年8,400円  
(消費税込)

- 地域を元気にする情報を提供します。
- 農地を守り、担い手を応援する農業委員会活動を伝えます。
- 家族全員が楽しめる記事が充実しています。

購読申込は農業委員会事務局または各地域局農業委員会担当まで。

## 農業者年金に加入しませんか?

### 長い手積立年金

～農業者の老後は国民年金だけでは不安です～

加入するとメリットがいっぱい!

- 保険料は全額社会保険料控除
- 終身年金で80歳までの死亡一時金あり
- 農業の担い手には保険料補助
- 保険料の額は2万円から6万7千円まで千円単位で自由に設定
- 加入・脱退は自由

農業に従事している方ならどなたでも加入できます

- ①年間60日以上農業に従事
- ②国民年金の第1号被保険者
- ③20歳以上60歳未満の方

お問い合わせ

横手市農業委員会事務局 (☎35-2172)  
または、JA秋田ふるさと各支店まで

# 農地に関することは 農業委員・農地利用最適化推進委員に ご相談ください。

| 横手地域 |         |
|------|---------|
| 農業委員 | 近江谷 久雄  |
|      | 佐々木 由紀子 |
|      | 佐藤 省美   |
|      | 高瀬 俊作   |
|      | 高橋 尚也   |
| 推進委員 | 菊谷 篤    |
|      | 久米 豊昭   |
|      | 堀江 一彦   |

| 増田地域 |        |
|------|--------|
| 農業委員 | 千葉 肇   |
|      | 平良木 保  |
| 推進委員 | 阿部 美喜夫 |
|      | 岩谷 寛   |
|      | 鈴木 努   |

| 平鹿地域 |        |
|------|--------|
| 農業委員 | 飯野 正和  |
|      | 佐藤 勇   |
|      | 菅原 一太郎 |
| 推進委員 | 鈴木 勉   |
|      | 原 利和   |
|      | 松井 覚   |

| 雄物川地域 |        |
|-------|--------|
| 農業委員  | 近江 清廣  |
|       | 小笠原 夏子 |
|       | 木村 由美子 |
|       | 佐々木 善一 |
|       | 吉田 和儀  |
| 推進委員  | 佐藤 直   |
|       | 佐藤 芳美  |
|       | 鈴木 浩平  |
|       | 吉田 豊   |

| 大森地域 |        |
|------|--------|
| 農業委員 | 遠藤 タミ子 |
|      | 佐藤 仁   |
|      | 丹波 賢太郎 |
| 推進委員 | 佐々木 薫  |
|      | 讃岐 孝夫  |
|      | 田口 元   |
|      | 長谷山 厚成 |

| 十文字地域 |        |
|-------|--------|
| 農業委員  | 伊藤 亨   |
|       | 齊藤 龍平  |
|       | 佐藤 真志子 |
|       | 高橋 良一  |
| 推進委員  | 伊藤 学   |
|       | 高橋 康弘  |

| 山内地域 |        |
|------|--------|
| 農業委員 | 小野寺 稲子 |
| 推進委員 | 伊藤 長悦  |
|      | 照井 勇人  |

| 大雄地域 |        |
|------|--------|
| 農業委員 | 佐々木 秀一 |
| 推進委員 | 小松 高義  |
|      | 戸田 賢隆  |



## 農地利用の意向調査に ご協力をお願いいたします



農業委員会は、農地の利用集積や遊休農地の未然防止など、農地利用の最適化に向けた活動を行っています。平成30年度は、一部の地区を対象に農地利用の意向調査を実施しました。農地を貸したい、借りたいなどの相談が多く、大切な農地を荒廃させずに次の世代へ継承していくことが重要になっています。

今年度は対象となる地区に農業委員や農地利用最適化推進委員が訪問して、農家の皆さんの意向調査を実施する予定です。調査票がお手元に届きましたらご協力くださいますようお願いいたします。

# 横手市賃借料情報

農地の貸し借りをを行う場合は、耕作条件等を十分考慮し、当事者間の話し合いにより賃借料を決定して下さい。

(10a当たり)

| 地域           | 平均額                                    | (田)            | (畑)     | 総データ数        |
|--------------|--|----------------|---------|--------------|
| 横手           | 11,621円<br>最高額(22,000円)<br>最低額(1,000円) | 11,656円        | 7,558円  | 3,243        |
| 増田           | 12,090円<br>最高額(20,000円)<br>最低額(4,000円) | 11,957円        | 15,809円 | 211          |
| 平鹿           | 14,111円<br>最高額(25,000円)<br>最低額(1,000円) | 14,139円        | 12,273円 | 2,051        |
| 雄物川          | 14,191円<br>最高額(25,000円)<br>最低額(1,000円) | 14,300円        | 7,777円  | 905          |
| 大森           | 12,998円<br>最高額(20,000円)<br>最低額(5,000円) | 13,071円        | 8,505円  | 344          |
| 十文字          | 13,164円<br>最高額(20,000円)<br>最低額(3,000円) | 13,221円        | 11,855円 | 1,120        |
| 山内           | 8,217円<br>最高額(13,000円)<br>最低額(5,000円)  | 8,172円         | 11,865円 | 53           |
| 大雄           | 15,499円<br>最高額(25,017円)<br>最低額(2,000円) | 15,475円        | 16,075円 | 491          |
| <b>全地域平均</b> |  | <b>13,395円</b> |         | <b>8,423</b> |

※データ数は、集計に用いた筆数です。

※平均額は、データ数による加重平均です(畑の賃借料については、果樹畑も含まれています。果樹畑の賃借料は、品種・樹齢等により増減します)。

平成21年の農地法の改正に伴い、それまでの標準小作料制度が廃止されたことから、これに代わるものとして、農地の賃貸借契約時の賃借料を情報提供するものです。

昨年締結(公告)された賃貸借における賃借料水準(10a当たり)となっています。

## 許可申請の締切日

※各種申請書の提出締切日と許可書の交付日は、原則次のとおりです。

| 申請内容                               | 締切日       | 許可書交付日              |
|------------------------------------|-----------|---------------------|
| 農地の権利移動の許可<br>(農地法第3条)             | 毎月<br>25日 | 総会終了後1週間以内          |
| 農地転用の許可<br>(農地法第4・5条)              |           | 総会終了後1週間以内または月末     |
| 農業経営基盤強化促進法に関する申請<br>(利用権設定、県公社売買) | 毎月<br>20日 | 告示日(総会終了の翌日頃)後1週間以内 |

## 農業委員会へのお問い合わせは

|                 |           |
|-----------------|-----------|
| 農業委員会事務局(条里南庁舎) | 電話35-2172 |
| 増田地域課農業委員会担当    | 電話45-5515 |
| 平鹿地域課農業委員会担当    | 電話24-1118 |
| 雄物川地域課農業委員会担当   | 電話22-2187 |
| 大森地域課農業委員会担当    | 電話26-2116 |
| 十文字地域課農業委員会担当   | 電話42-5119 |
| 山内地域課農業委員会担当    | 電話53-2934 |
| 大雄地域課農業委員会担当    | 電話52-2111 |

## 農地の取扱いの見直しについて

### 1. 相続未登記農地等の利用の促進

- (1) 相続未登記農地等について、相続人の一人だけでも農業委員会の公示の手続きを経て、農地中間管理機構に貸付ができるようになりました。
- (2) この場合の利用権設定期間が最長「5年」から「20年」に大幅に長期化されました。

### 2. 底面の全部がコンクリート等で覆われた農業用施設の取扱い

- (1) 農業用ハウス等の底面を全面コンクリート張りにする場合、事前に農業委員会へ「農作物栽培高度化施設」の届出を行うことで、農地転用許可が不要になりました。ただし、「農作物栽培高度化施設」については、農作物の栽培に供されるもの等の一定の要件を満たす必要があります。



●詳細については、各地域局農業委員会担当(横手地域は農業委員会事務局)にご確認ください。

# 第13回食育見聞録 作文・図画コンクール

## 農業を手伝ってみて



醍醐小学校  
佐藤 夕七 さん

山内の祖父母の家では、ぶどうやいのこを作っています。小さい頃は収穫したものを食べるだけでした。小学生になってからは、少しずつ収穫を手伝い、今では収穫までの作業も手伝うようになりました。

私はぶどうの中で、シャインマスカットがとても好きです。皮ごと食べることができると、とても甘いからです。しかし、このぶどうを作るには、いろいろと難しい作業をしなければなりません。普通のぶどうより手間がかかります。例えば、粒を大きくするために、摘粒



雄物川小学校  
黒澤 壮 さん



ご飯が1番

作業をして、一ふさに三十五から四十粒にします。私は、祖父母と一緒に摘粒作業をがんばりました。

いものこ作りでは、普通の野菜とちがって、植えるときに気を付けなければならぬことがあると教えられました。いものこには上下があり、植え方を間ちがうといものが下の方に出来てしまいます。弟と手伝いをしましたが、見分けるのが難しかったです。いものこは山内産と横手産でねばりにちがいがあって、そのちがいは、土のちがいでそうです。祖父母の家で作っているいものこは、学校で作っているものより大きかったです。来年は、学校で作るいものこを祖父母のいものこに近づけたいです。

手伝ってみて、農業はとても大変だと分かりました。でも、自分たちで手伝ったぶどうやいのこはとてもおいしかったです。これからも手伝いを続けたいです。

小学校でも、りんごやメロンの農業体験をしました。いつもおいしく食べている食事のありがたさ、作り手の大変さや気持ちを知ることができました。学校給食でも、生産者の人たちと一緒に食べる機会があります。これからも好き嫌いをせずに、秋田産のおいしいものや横手産のおいしいものを、作り手の方々に感謝しながら食べていきたいと思っています。

## 編集後記

昨年は災禍年でした。今年は「災い転じて福となす」年にと願っています。

さて、私は42年前畜産研修でヨーロッパを訪問しました。その時のことで最も印象に残っているのは、小規模の畜産経営をしている、スイスの山岳で山から乾草を担いで降りてくるおじさんの姿です。日本では経済合理性を考えるとあり得ないことですが、スイスでは条件が悪ければ悪いほど乳価は高く、国民の税金によって、国土と農地が守られています。

比較するのは単純ではありませんが、横手の中山間地の現状を見ると圧倒的な差を感じてしまいます。もちろん個々の努力も大切ですが、限界があります。現状を打破できる術がないものかと考えるこの頃です。

広報・食農推進委員

千葉 肇

広報・食農推進委員会

- 委員長 木村 由美子
- 副委員長 高橋 尚也
- 委員 千野 肇
- 小野寺 稲子
- 佐藤 真志子
- 小笠原 夏子
- 菅原 一太郎
- 遠藤 俊作
- 高瀬 俊作